

■永田雅一 実業家、映画プロデューサー、プロ野球オーナー、馬主。大言壮語な語り口から“永田ラップ”の愛称。

ながたまさいち

満鉄発足・1906＝ 京都市中京区油小路三条で、染料と友禅の間屋を営む永田芳太郎・きみの長男に生まれる。

伊藤博文暗殺1909＝ 3歳：この頃から家運が傾きはじめ、

父が友人の借金の保証をして破産、

明治天皇没・1912＝ 6歳：

日蓮宗に入信した母の影響で熱心な日蓮宗信者となる。

21ヶ条要求・1915＝ 9歳：

ベルリン条約・1919＝13歳：苦しい家計のため母のいとこ田辺政二郎を頼り上京。

大暴落・・・1920＝14歳：大倉高等商業高校入学。父が脳溢血で死去。

原敬首相暗殺1921＝15歳：

水平社結成・1922＝16歳：大倉商業を中退し、自活を始める。

関東大震災・1923＝17歳：震災後京都に帰り、やがて、**「ヤクザの三条{千本組}本家の三男笹井末三郎を知り身を寄せる。**

護憲三派圧勝1924＝18歳：**「笹井の世話で、日活京都撮影所所長池永浩久に頼み込み庶務係見習いとして働き、**

治安維持法・1925＝19歳：**「日活京都撮影所に本採用、以後、映画人としての道を歩む。**

満州事変・・・1931＝25歳：

五一五事件・1932＝26歳：日活従業員誠首減俸絶対反対期成会闘争委員長に。京都府労働部が調停にたち争議終了。

国際連盟脱退1933＝27歳：

帝人疑獄事件1934＝28歳：日活を退社し、第一映画社を創立。サラブレッドを購入し、競走馬の馬主となる。

二二六事件・1936＝30歳：第一映画社を解散、松竹の大谷竹次郎の引きで、新興キネマ京都撮影所所長となる。

日中戦争始・1937＝31歳：林長二郎傷害事件を起こし、参考人として取調べを受ける。

日米開戦・・・1941＝35歳：

・・・1942＝36歳：**「*政府の勸奨で映画会社が統合される際、画策して、大日本映画製作(大映)の設立に成功し、専務に選任。この際の贈賄容疑で留置されるが、証拠不十分で釈放。**

創価学会検挙1943＝37歳：菊池寛を大映初代社長に迎える。

敗戦・・・1945＝39歳：

新憲法公布・1946＝40歳：京都より衆議院議員総選挙に立候補するが落選。

新憲法施行・1947＝41歳：**「*大映社長に就任。社員をすべて縁故で固め、自らをカリスマ化して行く。アメリカ視察旅行して、プロ野球オーナーが尊敬されていることを知り、大映球団を組織、大塚アスレックスと合同。**

極東裁判判決・1948＝42歳：東急フライヤーズと合同、さらに金星スターズを買収して大映スターズを結成、次第に本業となり、この頃から毎年、身延山の七面山に入り、元旦会のお籠りするようになる。

独立回復・・・1951＝45歳：**「黒沢明起用して製作した「羅生門」がヴェネチア国際映画祭グランプリ受賞。10戦無敗で皐月賞・日本ダービーを制しながら破傷風で悲劇の最期を遂げたトキノミノルの馬主でもあった。**

TV放送始・・・1953＝47歳：**「パ・リーグ総裁に就任、球界再編成の主役となる。松竹・東宝・東映・新東宝に呼びかけ五社協定締結主導、社団法人映画産業振興会理事長に選任。溝口健二監督「雨月物語」はヴェネチア国際映画祭銀獅子賞、**

55年体制始・1955＝49歳：**「アカデミー授賞式に出席。企画会議で全社員が反対するなか強引に製作した「地獄門」がカンヌ国際映画祭で外国映画特別賞・色彩映画衣装デザイン賞。第1回紫綬褒章。**

なべ底不況・1957＝51歳：高橋を吸収合併して大映ユニオンズとなる。

インスターン・1958＝52歳：映画「日蓮と蒙古大襲来」の製作に関わる。**「日活も加わり、テレビ対策でもある悪名高き五社協定(まもなく新東宝倒産)を確立。毎日オリオンズと合併し、大毎オリオンズとなる。**

安保闘争・・・1960＝54歳：日本シリーズで西本幸雄監督をバカ呼ばわりして辞任に追い込んだ後、毎日も手を引き、

タイタイ病始・1961＝55歳：**「*武州鉄道汚職事件で逮捕されるも釈放。日本初の70ミリ映画「釈迦」も手掛けるが、日本映画の衰退のなか、ワンマンな放漫経営の大作主義だった大映はギリ貧に追い込まれ、スターの脱退など次々にたたり、**

全国総合計画1962＝56歳：私財を投じてプロ野球専用の東京球場を建設するも、経営難、

東京リビッガ 1964＝58歳：大映単独経営のプロ野球球団東京オリオンズ発足。

全共闘ビーク・1969＝63歳：盟友岸元首相の仲介によりロッテより資金を仰ぎ、ロッテオリオンズと改称。

大阪万博・・・1970＝64歳：**「リーグ優勝し、グラウンドに乱入したファンに胴上げされて号泣。**

ドゥシヨク・・・1971＝65歳：大映再建に専念すべく経営権をロッテに売却するも、**「*ついに業務中止、全従業員解雇後、破産宣告。**

石油ショック1973＝67歳：

角栄金脈辞任1974＝68歳：ロッテオリオンズが日本シリーズ優勝し、スタンドで感涙。

田中角栄逮捕1976＝70歳：永田プロダクションを設立。徳間書店の子会社して復帰していた大映作品「君よ憤怒の河を渉れ」にプロデューサーとして参加し映画界に復帰。

成田衝突・・・1978＝72歳：

革新大敗北・1979＝73歳：萬屋錦之介主演で映画「日蓮」を製作。

晩年は日蓮宗の信徒総代となり、焼失した鐘樓をほぼ独力の寄付により再建したほか、様々な施設の寄付にかかわり、霊場・総本山では異例の個人をモデルとした母紀美の銅像を境内に建立している。

ジャンボ機墜落1985＝79歳：急性肺炎で、**「没した。**